



# かめやま教育通信

第20回



10歳～12歳（小学校高学年）の子育てアドバイス

## 「一人の人間として」子どもと接することが大切！

### 大人に近づく高学年！ 一人の人間として接し、 自立に向けての成長を見守る

高学年になると、少しずつ精神的に自立し始め、反抗的な面も出てきます。

また、一人の人間として尊重してほしいという意識が高まってきます。

しかし、親の方はなかなか気持ちを切り換えられず、過干渉になったり、親の望むように動かそうとしたりしてしまうことも少なくありません。

親の干渉を嫌がるようになることは、それだけ精神的に成長してきた証です。

子どもの成長を受け止めつつ、子どもも親と異なる意見や考えを持つ一人の人間として接してみると、より良い親子関係を築くことができると思います。

### ほめ方を変えてみよう！

幼い頃は、「がんばったね」「えらいね」とほめると喜んでいたのに、成長してくると「別に！」と返されてしまうことも…。

それは、成長とともに子どものほめてほしいことと、親がほめることがずれてきているからです。

思春期の子どもは、ほめ方によって、上から下へ評価されていると感じることがあります。

そこで、「ありがとう」という言葉を使ってみませんか。対等な立場で、子どもに感謝の気持ちが伝わる良い言葉です。

ぜひ、成長に合わせて、かける言葉を変えてみてください。

片づけてくれて、ありがとう！

良い点取れたじゃない。よくがんばったね

悪い気はしないかも

対等

上から下への評価

別に、たいしてがんばってないし



### 反抗的な態度にどう対応する？ 話し合い、お互いにとって良いプランを考える

この時期の子どもに、「早く起きなさい！」「宿題終わった？」「早くお風呂に入りなさい！」などと声を掛けると、「うるさい！」「わかってるよ！」という反抗的な言葉や態度をとることがあります。

「わかっているなら、早くしなさい！」と、つい言い返したくもなります。しかし、頭ごなしにしかると、子どもはさらにやる気をなくしてしまいます。

まずはどうしたいのか、子どもの思いに耳を傾けてみましょう。子どもは、納得できないことを言うてくるかもしれません。

そんなときは、話し合いながらお互いにとって良いプランを考えてみましょう。そして、最後に「ありがとう」という言葉を添えると良いですね。

早くやりなさい！

わかってるよ！  
うるさいなあ

やろうと思っているなら  
早くやって！



子どもの思いを聴こう、  
お互いを尊重しよう

じゃあ、どうしたいの？

〇〇が終わったらする

それだと困るな、□□してくれ  
るといいんだけど

なら、□□するよ

ありがとう、助かるわ



問合先 教育委員会学校教育課教育支援グループ（☎84-5076）